

長崎市観光・MICE振興審議会 第3回 小委員会 配布資料

日 時：令和7年9月26日（金）16：00～18：00

場 所：長崎市役所13階 中会議室（魚の町4－1）

1	小委員会委員名簿	2
2	座席表	3
3	会議次第	4
4	第2回小委員会の主な意見とその対応について	5～6
5	【資料1】報告書（案）	別紙
6	その他	7

1 小委員会委員名簿

(敬称略・委員長、副委員長を除き五十音順)

役職	氏名	所属団体名	肩書	区分	小委員会
会長	下地 芳郎	沖縄キリスト教学院大学 観光文化学科	客員教授	学識経験	
副会長	高橋 一夫	近畿大学 経営学部	教授	学識経験	座長
	糸屋 悦子	長崎商工会議所女性会	会長	商工業関係団体	○
	井上 総一郎			市民公募	
	岩本 諭	55HUBs/ 斜面地・空き家活用団体「つくる」	代表 ／代表	観光まちづくり関係団体	
	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所	執行役員 地域交流共創部長	観光関係団体	
	篠原 靖	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部	准教授	学識経験	
	田中 雅資	一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会	理事長	観光関係団体	○
	陳 優継	長崎MICE誘致推進協議会	監事	産業関係団体	○
	塚島 宏明	長崎県旅館ホテル生活衛生同業組合	専務理事	観光関係団体	○

2 座席表

2025/9/26（金）16：00～18：00 長崎市役所13階 中会議室（魚の町4-1）

出入口

記者席・傍聴席

事務局

職員

うめき
梅木
収納課長

いずみだ
泉田
市民税課
諸税係長

せい
生
観光交流
推進室係長

職員

職員

いわなが
岩永
観光政策課
総務企画係長

しばた
柴田
観光政策課長

まえだ
前田
文化観光部長

たなか
田中
委員

いとか
糸屋
委員

委員

たかはし
高橋
委員

つかしま
塚島
委員

ちん
陳
委員

記者席・傍聴席

3 会議次第（長崎市観光・MICE振興審議会第3回小委員会）

日 時：令和7年9月26日（金）16：00～18：00

場 所：長崎市役所13階 中会議室（魚の町4－1）

1 開会

2 議事

（1）報告事項

ア 第2回小委員会の主な意見とその対応について

（2）協議事項

ア 報告書（案）について

3 その他

4 閉会

4 第2回小委員会の主な意見とその対応について

委員	事項	指摘項目	対 応
田中	2 協議事項 (2) 効果の 検証について	・トラベル長崎やさるくなど、ページビューだけではわからないような効果もある。実際、観光客からはうれしい声もたくさんあるため、それも反映させてもらえるといい。交通誘導も、回数だけでなく、生の声も反映させてほしい。	・長崎さるくや観光教育出前授業など、実績値とあわせて参加者の感想、声なども掲載したい。
高橋座長		・ぜひ定量的なものと定性的な部分の両方を記載してほしい。	
陳		・ガイドが24人増えたというが、実際にはその24人がどれだけ稼働したかも知りたい。それが大事だと思う。	・有償ガイド「nagasaki crew」の稼働実績、1回あたりの販売単価なども掲載したい。
塚島		・宿泊税を活用したがんばりが事業者や地元伝わらないのが残念。地元で話題に上がってこない感を感じるため、できれば、事業者とともに、これぞ宿泊税のような目玉事業をやっていかれると思う。	・今後も宿泊事業者をはじめ観光関連事業者、宿泊者などの意見、アイデア等も参考にしながら目に見えるもので、わかりやすい宿泊税の使い方を検討していきたい。
糸屋		・警備員に宿泊税のワッペンをしたりするなど、宿泊税を活用していることがわかるものをこのような小さなことからやっていくのはどうだろうか。そうすれば、わかりにくいことが分かるようになっていくのではないかなと思う。	・宿泊税を活用して警備員を配置していることが分かるようなワッペン、腕章、たすきなど周知、啓発に有効なツールを検討したい。
塚島	2 協議事項 (3) 見直し 時期について	・5年は長いと思う。今回は税率の見直しをするため、こまめに確認できるようにしたほうがいいのではないかな。	・見直し時期は、委員のご意見をふまえ、これまで同様、3年で検討したい。
糸屋		・3年のままだと思う。コロナなど、何があるかわからない社会情勢で、5年は長いと思う。定額や定率も考えないといけないため、短いほうがいい。	
高橋座長		・委員の総意は3年がいいということで終えたい。	

4 第2回小委員会の主な意見とその対応について

委員	事項	指摘項目	対 応
塚島、田中	1 報告事項 (1) 第1回小委員会の主な意見とその対応について	・インバウンド客への有償ガイド「Nagasaki Crew」を活用したマナーの周知。(クルーがその場でマナーを教えてくれ、その様子を動画で発信するなど。)	・現在、長崎市では訪日外国人向けの4か国語対応のマナー喚起文例集を作成しており、飲食店や小売店など外国のお客様が来る場所で活用している。また、有償ガイド「Nagasaki Crew」を活用したクルーズ客への場面に応じたマナーの周知も行っている。 ・今後は、他都市の事例を参考に、現地旅行会社を対象としたマナー啓発や、国内ツアーオペレーター事業者等を通じたガイド等を対象としたマナー周知、訪日外国人旅行者向けのマナー啓発用の看板、ステッカー、チラシ等の配布などを検討する。
塚島		・路面電車へのタッチ決済機器導入支援については、宿泊税を活用していることをもっとPRすべき。	・長崎電気軌道へタッチ決済機器に宿泊税を活用している旨の表示について協議・依頼する。
塚島	2 協議事項 (1) 宿泊税の使途及び税率についてについて	・宿泊税賦課費の特別徴収義務者への交付金2.5%は低い。なぜなら、大半の客がキャッシュレスで支払いを行う。その手数料を事業者が負担しているという事実があり、これに対して、事業者の不満がたまっている。それを考えると、もう少し率をあげてもいいのではないか。他の自治体では、6%にしているところもある。現状を調べて交付率を改めてほしい。	・他都市の状況としては、宿泊税導入自治体の多くは、長崎市と同様の2.5%（金沢市ほか5都市は導入から5年間は特例措置として+0.5%）であり、他の特別徴収を実施している税目では、同様の交付金を支出していないことから、交付率の見直しは考えていない。 ※常滑市については、総務省から「他市町村との足並み」「クレジットカード以外で徴収する場合の整理」で了解が得られなかったと伺っている。 ・その他の自治体は次のとおり。 愛知県常滑市2.5%（別途、3.5%相当を支援金として支出）、北海道ニセコ町5%、岐阜県高山市3% ・宿泊施設事業者を対象としたサービス向上を目的とした研修費の支援や、宿泊者の利便性や魅力向上、及び宿泊施設の宿泊単価の向上を目的とした宿泊施設改修への支援などを検討することで、宿泊事業者への直接的な還元につなげたい。
高橋 座長		・今は何パーセントで長崎市とクレジットカードの会社で契約しているのか。	・長崎市からクレジットカード会社に対し、決済手数料の支払いは発生していない。納税義務者による市税のクレジットカード払いの際の決済手数料については、市税を納付する際に納税義務者により直接クレジットカード会社に対して支払われている。
糸屋		・お祭りなどの体験につかってもらいたい。宿泊税を使って、情報提供をしてもらえるといい。お祭りがある離れた場所に足を運んでもらうようなとりくみに使ってもらいたい。	・市総合観光サイト「travel nagasaki」を通じて地域のお祭りや伝統行事など魅力発信に取り組んでいく。

6 その他

今後のスケジュール

	R7年度							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市議会		9/5~9/29	10/16~22(決算委員会)		11/下旬~12/中旬			2/下旬~3/中旬
観光・MICE振興審議会	8/21			11/12				
小委員会	8/22	9/26						
座長との打合せ	8/13	9/19頃						
部長打合せ								
会議資料作成	→	→ 報告書(案)作成						
宿泊税活用に係る全庁照会								
税率シミュレーション	→							
新制度(案)作成(税率、交付金(率、上限))		→ 9/5						
三役協議		9/12 9/17	10/6~10					
宿泊事業者との意見交換		9月下旬(コメンター会議)		11/21,25頃				
観光・MICE振興審議会への報告				11/12				
観光・MICE振興審議会から市長への報告				11/20				
市議会所管事項調査					12/8頃			
制度見直しに関する意思決定					12/22頃			